

感染対策委員会

五月、十月そして十二月に施設で新型コロナウイルス感染症の集団感染がありました。

集団感染をしてしまった原因として、施設としての感染対策の徹底が行えていなかつたことが反省点として挙げられました。

対策として、各棟の仕切り扉の上に窓やカーテンの取り付けを行い、感染拡大のリスクを最小限にするための対策を行いました。

今後も施設におきまして全職員が引き続き十分な感染対策を行います。

(支援員 荻原圭二)



ワクチン接種状況

昨年十一月三十日にインフルエンザワクチンを接種していました。

十一月七日と二月十一日に分け、新型コロナウイルス感染症、五回目のワクチン接種を終しました。接種日にできなかつた方は別日に桜井内科医院にて接種しました。

(和田 可奈)

バレンタインメニュー

二月十四日、学園では食事のメニューがバレンタインに関連するものでした。昼食では「ハート型チョコムース」、おやつには「多機能型施設モモ(びつび)」の「フォンダンショコラカップケーキ」夕食は「ハートコロッケ」が出ました。どのメニューも利用者さんにこにこしながら食べていました。

（渡辺 友香）
（和田 可奈）

医務室ほつとライン



▲はーとのコロッケ

▲はーとのコロッケ

編集後記

少しずつ雪解けが始まり、長かった冬の終わりと春の訪れを感じる季節となりました。が、皆様いかがお過ごしですか。春とはいっても朝夕はまだまだ冷え込みます。風邪などひかないよう気をつけてください。

(渡辺 友香)

退職職員

平成二十一年七月十一日から精明学園に入所されていた「白鳥伸幸さん」ですが、療養型病床を持つ病院への入院されたため、2月に退所されました。精明では、カラオケや、リズム体操が好きでした。違う施設に行つても元気に過ごしてください。

職員の接遇に関する苦情に関しましては、寄せられた内容を真摯に受け止め、各部署に改善をお願いしています。

下半期は苦情解決第三者委員会が九月、一月に二回開催されおりまます。そこで職員の接遇に関する苦情が十件寄せられています。

(平林 隼人)

・鈴木由美子さん
(令和四年八月三十一日付)
・松下 幸さん
(令和五年二月二十八日付)
・小林 一史さん
(令和五年三月三十一日付)
今までのご活躍をお祈りいたします。

その他の苦情・要望・解決内容につきましては、精明学園ホームページにて掲載しますのでご覧ください。

（平林 隼人）

苦情解決委員会

取り付けを行い、感染拡大のリスクを最小限にするための対策を行いました。

今後も施設におきまして全職員が引き続き十分な感染対策を行います。

(支援員 荻原圭二)

せいめい

2023年3月20日発行

社会福祉法人 愛泉会・精明学園

〒391-0012 長野県茅野市金沢4509 TEL 0266-72-6212 FAX 0266-72-3945
URL http://www.aisenkai.com/ E-mail seimei@ksf.biglobe.ne.jp



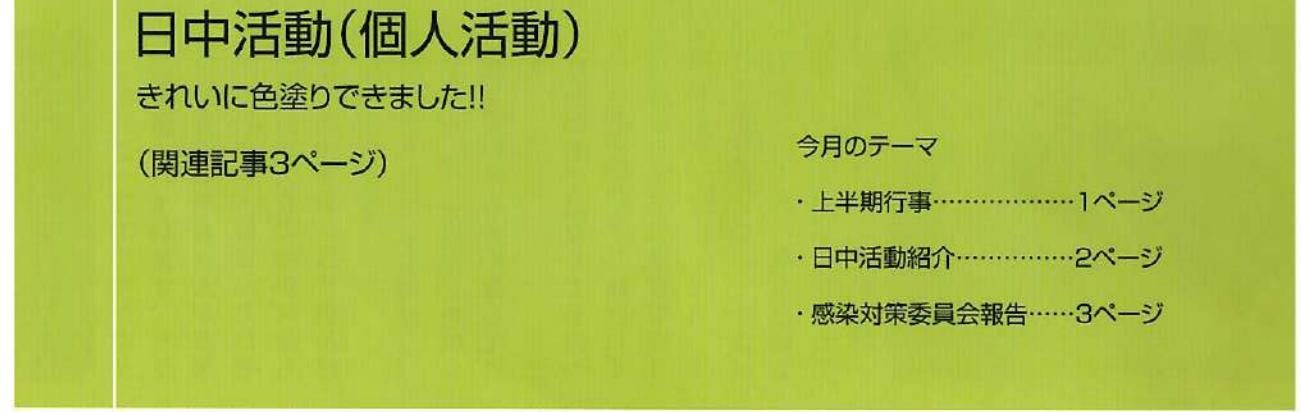
日中活動(個人活動)

きれいに色塗りできました!!

(関連記事3ページ)

今月のテーマ

- ・上半期行事.....1ページ
- ・日中活動紹介.....2ページ
- ・感染対策委員会報告.....3ページ



クリスマス会

新型コロナウイルス感染症で行事の中止が続く中、盛大にはできませんでしたが、十二月二十五日にクリスマス会が行われました。

今年はホワイトクリスマス。もみの木のツリーに降り積もった雪はキラキラと輝いていました。雪の中サンタクロースとトナカイに扮した職員が現れ、プレゼントを運んで来てくれました。皆さん

ブレゼントにもサンタクロー

ス、トナカイにも大喜びでした。

おやつは皆さん大好きなケーキです。「甘くて大好き」「おいしかった」と話されていました。また来年サンタクロース来て欲しいなど楽しみにされている様子でした。

(編集委員)



料理クラブ

十月に料理クラブを行いました。今回は、酢豚とアイスクリームを作りました。

酢豚作りでは、「この切り方でいいかな」と悩みながらも上手に包丁で材料を切り、フライパンに材料を入れて手元に気を付けながら、焦げないよう炒めました。また、「アイスクリームって作れるの?」と言いつながら、アイスクリームが固まるのを楽しみに待っていました。

作った酢豚やアイスクリームは量が多くなりましたが、利用者の方々はおいしそうにべったりと食べられていきました。

次回の料理クラブも楽しみです。(栄養士 小林 葉月)



カラオケクラブ

二ヶ月に一度カラオケクラブが開催されています。カラオケ好きの利用者さんが参加されています・皆さんそれぞれにお気に入りの曲が何曲もあります。

自分の番ではなくても知っている曲が流れると一緒に口ずさみ皆さん元気な歌声で盛り上がりります。

「この歌好きなんだ」「今度はこの歌うたうね」と話しながら次回を楽しみにされています。

(編集委員)



日中活動

日中活動の目的としては、利用者の方の希望・能力・可能性・課題などを考慮し、個々に合わせた活動を提供していきます。日々、精明学園での生活を過ごされていく中で、利用者の方々が取り組まれている活動内容の個人活動・カラオケ・ハビリ・リズム体操について皆さんに今回の記事でご紹介いたします。

(広報委員会)

個人活動

個人活動では、個々の利用者の方に焦点を当て、創作活動や得意な活動などに取り組まれています。

活動時間には、利用者の方の表情豊かな瞬間が見られ、皆さん思い思いのやり方で活動に取り組まれています。

(支援スタッフ 大久保博史)

リハビリ

多くの利用者さんが、日中活動の時間にリハビリに取り組まれています。永く元気な身体でいられるよう、皆さん頑張っています。

(支援スタッフ 北御門桃子)

鑑賞

鑑賞では利用者の一人一人のみたいものを聞き取り活動時間に鑑賞されています。ジャンルはさまざまで利用者の方に楽しんでもらえるよう提供しています。

(支援スタッフ 宮澤 利佳)

リズム体操

日中活動ではリズム体操を取り入れています。音楽に合わせて身体を動かすことで、皆さん楽しみながら体操に取り組まれています。

(支援スタッフ 平林 彩香)

カラオケ

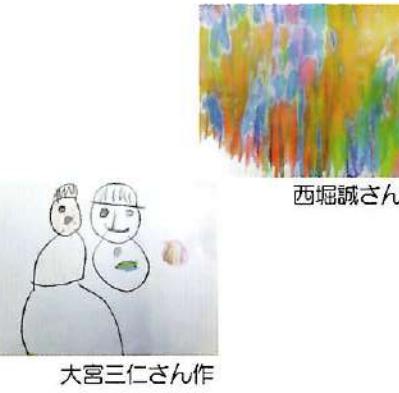
カラオケでは、一人一人自分の歌いたい曲を歌つたり、季節の歌をみんなで歌つたり、いろんな楽器を奏でながら楽しめています。

(支援スタッフ 吹上芽依)

オブジェ

オブジェでは、季節に合わせた制作に取り組んでいます。一月は、だるまと梅の花を制作しました。折り紙をちぎって貼り、一つ一つ模様の違うだるまと梅の花が完成しました。作品は、食堂に展示しています。

(支援スタッフ 渡邊 里歩)



西堀誠さん作



大宮三仁さん作



カラオケ



オブジェ